●右開き戸
紙の端を縦枠に当てる　【位置決め用物差し】　縦枠から 100mm の位置

●左開き戸
縦枠から 100mm の位置　【位置決め用物差し】　紙の端を縦枠に当てる

ドア音ケア＜引き戸用＞　SC－100タイプ

取付け手順書　・・・ ＜別紙の取説＞も併せてお読みください。

★取付け手順については、動画で見ることもできます。
← 動画はコチラ

各部品について

●部品が全て揃っていることを確認してください。（写真の製品カラーは『オフホワイト』です。）　※作業の際、（＋）ドライバーが必要です。

◆本体ユニット ・・・ 1個
＜戸の表面に取付けます＞

◆ストッパーユニット ・・・ 2個
＜上枠の下面に取付けます＞

◆取付け用工具 ・・・ 1個
＜取付け作業時に使用します＞

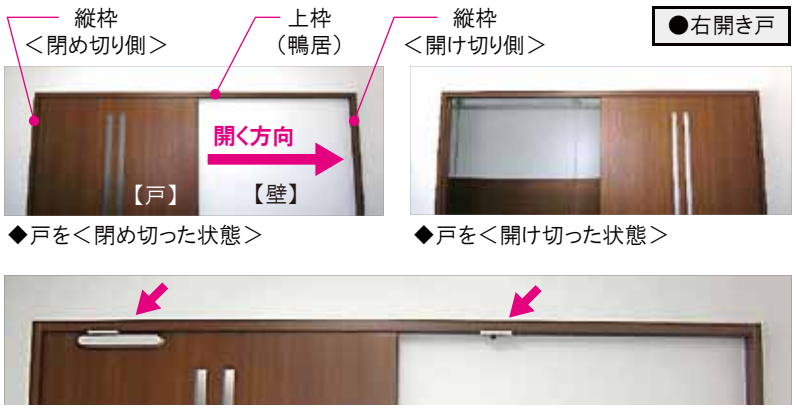
◆（＋）ドライバー ・・・ ご準備ください。
＜取付け作業時に使用します＞

引き戸のタイプについて

●＜右開き＞ か ＜左開き＞ かを事前に確認してください。

＜右開き戸＞ と ＜左開き戸＞ で部品の取付け位置が左右逆になります。

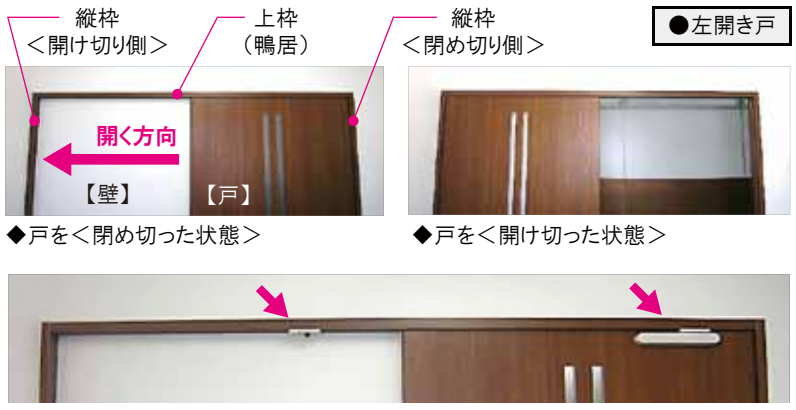
●右開き戸



◆戸を＜閉め切った状態＞　◆戸を＜開け切った状態＞

◆設置完了後の写真　※部品の取付け位置

●左開き戸



◆戸を＜閉め切った状態＞　◆戸を＜開け切った状態＞

◆設置完了後の写真　※部品の取付け位置

取付け手順

●本品は、強力テープで固定します。　※ネジ止めは不要です。
●設置の前に：テープで確実に固定するため、予め貼付ける箇所の ＜汚れや油分等＞ を必ず除去してください。
ココがポイント：除去する箇所　＜上枠(鴨居)の下面＞　＜戸の表面：上枠の下50mmの範囲＞

【ご注意】高所での作業となります。
安全には十分にご注意ください。

★＜右開き戸＞ と ＜左開き戸＞ で部品の取付け位置が左右逆になります。 その部分については、【左側】と【右側】に分けて記載し説明しています。

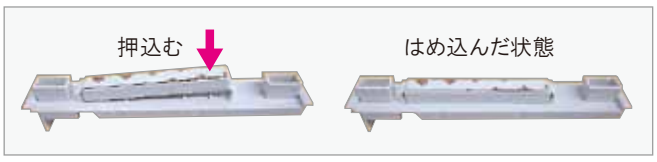
＜右開き戸＞の場合は、【左側】の手順で作業を進めてください。　＜左開き戸＞の場合は、【右側】の手順で作業を進めてください。

1 ストッパーユニットを一旦分解して、工具にセットする

ココがポイント：分解後の部品は、無くさないように箱等に入れて保管してください。

① （＋）ドライバーでネジを外して、分解する　② ベース（1個）のみを工具にはめ込む。

◆2個共に分解



◆斜めに置いてから、手で『パチン』と押込む

◆部品を 箱等に 保管

2 工具を使って、上枠下面にベースを＜仮固定＞する ・・・ 戸の＜閉め切り側＞

ココが【重要】：必ず＜戸を完全に閉め切った状態＞で行うこと！

●右開き戸

●左開き戸

① 上枠に工具を位置決めするための目印を付ける　※本紙上記（欄外）の【位置決め用物差し】を使用します。

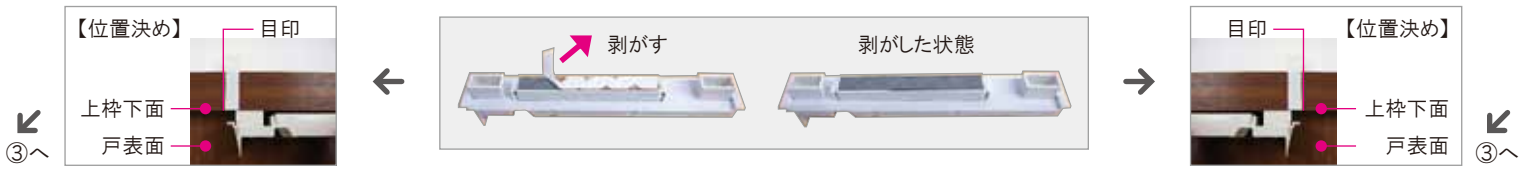
◆物差しを＜縦枠と上枠＞の2面に当てながら ⇒ 物差しの100mm位置に合わせて、上枠にテープ等で目印を付ける ⇒ 物差しを外す

② 工具にセットしたベースの＜テープの剥離紙＞を剥がした後、建具側に【位置決め】する

ココが【重要】：必ず＜戸を完全に閉め切った状態＞で行うこと！

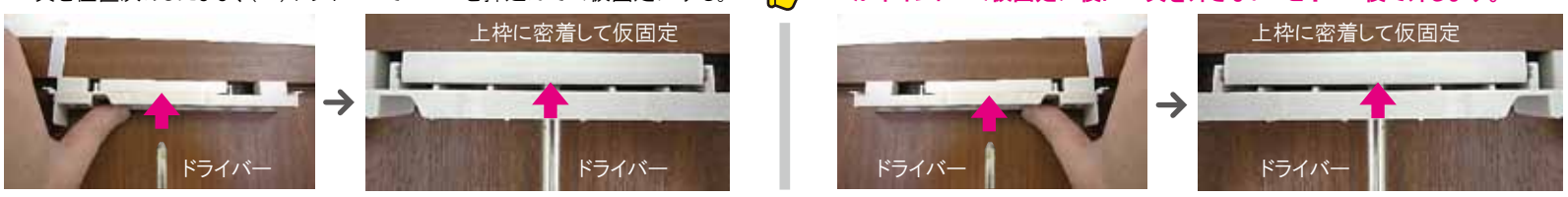
★【位置決め】は、工具を＜上枠下面と戸表面＞の2面に当てながら、工具の端を＜目印＞に合わせる。

ココがポイント：工具の向きに注意！



③ 工具を位置決めしたまま、（＋）ドライバーでベースを押込んで＜仮固定＞する。

ココがポイント：＜仮固定＞後に工具を外さないこと！ … 後で外します。



◆工具の穴にドライバーを挿入 ⇒ そのままドライバーで少し押込めば、工具からベースが外れて上枠に＜仮固定＞されます。

裏面＜2/2ページ＞へ続く

3 本体を工具で位置決めし＜仮固定＞する

①本体の＜カバー＞を一旦外す　⇒　【外した後に確認】レバーが左右に開き切っていること！

◆レバーが開き切っている状態

※ 閉じている場合は、写真の位置までレバーを外向きに引張ってください。

②本体裏側の＜テープの剥離紙＞を剥がす

◆2箇所共に剥がす

◆剥がした状態

ココがポイント：カバーを外す時のコツは＜取説＞を参照

ココが【重要】：必ず＜戸を完全に閉め切った状態＞で行うこと！

③本体を工具に合わせて位置決めする

◆＜左端と上面＞の2面を当てる

④位置がズレないよう手で支えながら、本体を軽く押付けて＜仮固定＞する

⑤工具だけを外す

◆手前に向かって引抜く

◆工具だけを外した状態

③本体を工具に合わせて位置決めする

◆＜右端と上面＞の2面を当てる

④位置がズレないよう手で支えながら、本体を軽く押付けて＜仮固定＞する

⑤工具だけを外す

◆手前に向かって引出す

◆工具だけを外した状態

4 もう一方のベースを位置決めし＜仮固定＞する … 戸の＜開け切り側＞

●右開き戸

◆＜閉め切り側＞とは逆方向に開け切ってください。

ココが【重要】：必ず＜戸を完全に開けきった状態＞で行うこと！

●左開き戸

◆＜閉め切り側＞とは逆方向に開け切ってください。

①外した工具にベースをセット

◆先程と同じ要領

②テープの剥離紙を剥がす

◆先程と同じ要領

③工具のスペーサーを外す

ココがポイント：必ず2個共外すこと！

④工具の位置決め

上枠と本体との隙間

◆工具を矢印部分（隙間）に差込みます。

④の続き

◆＜本体端＞に当てながら差込む　⇒　＜本体端と戸表面＞の2面に当てる

④の続き

◆＜本体端＞に当てながら差込む　⇒　＜本体端と戸表面＞の2面に当てる

⑤ベースを上枠に＜仮固定＞する

◆位置決めしたまま、工具両端の○印部分に指を掛けて押上げる

⑥工具を外せる状態にする

◆工具両端を片側ずつ押下げて、爪の引掛かりを外す

⑤ベースを上枠に＜仮固定＞する

◆位置決めしたまま、工具両端の○印部分に指を掛けて押上げる

⑥工具を外せる状態にする

◆工具両端を片側ずつ押下げて、爪の引掛かりを外す

⑦工具だけを外す　・・・ 外した後は、戸を動かしても問題ありません。

◆手前に向かって引出す

◆工具だけを外した状態

⑦工具だけを外す　・・・ 外した後は、戸を動かしても問題ありません。

◆手前に向かって引出す

◆工具だけを外した状態

5 ベース＆本体 を＜本固定＞し、先に外した部品を取付ける

①＜左右のベース＆本体＞を強く押付けて ＜本固定＞する。

◆左右のベースは全体を均等に強く押す

ココがポイント：10秒程度圧着すれば、しっかり固定できます。

②先に外した＜ストッパー＆ネジ＞を＜端寄せ＞でベースに取付ける

◆左側は＜右寄せ＞

◆右側は＜左寄せ＞

③先に外した＜前カバー＞を本体にはめ込む

◆平行にしながら押込めば、『パチン』と音が鳴りはまります。

●右開き戸

●左開き戸

◆設置が完了した状態

6 以上で、設置完了です。

最後に【動作確認】【微調整】を行えば、ご使用いただけます。　・・・ 詳しくは、取説を参照ください。

ドア音ケア ＜引き戸用＞ SC－100 タイプ

取扱い説明書（表）・・・1/2ページ

【お客様へ】●《本紙：取説》《別紙：取付け手順書》は、製品設置後もいつでもご覧になれるところに大切に保管ください。
●《付属品：取付け用工具》は、製品設置後に不要となりますが、必要に応じて保管ください。
（後日、製品を付け直す必要が生じたなどの際に再使用いただけます。）
● 本製品は、建具側に加工することなく《強力テープで取付けて設置するタイプ》です。
《テープだけで取付けるのに不安を感じる》《建具側に上手く付かない》場合は、ネジ止めを追加して設置することもできます。… 詳細は、以下の【補足説明】の欄を参照ください。

⚠ 取扱い上のご注意

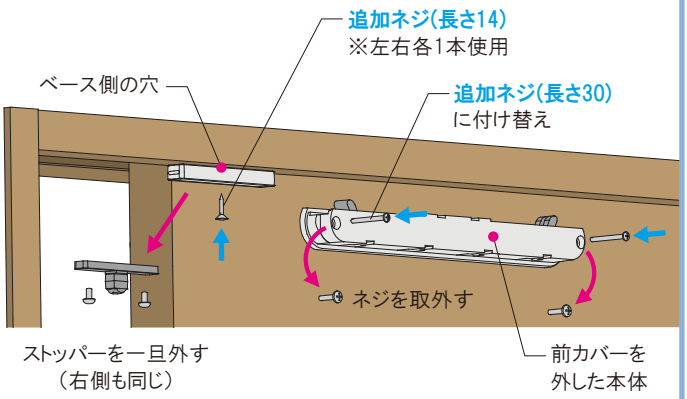
●本品は、室内ドア用のソフトクローザーです。※屋外には使用できません。劣化を早める原因となるため《浴室》には設置しないでください。
●一般住宅の《戸車付き木製引き戸》に使用できます。… 現在ご使用中の戸にも《後付け》することができます。
●引っ掛りがあったりスムーズに開け閉めできない戸の場合、正常に動作しないことがあるのでご注意ください。
●戸1枚に対し、製品1セットを取付けてください。　●本品を取付ける前よりも、戸を開けるのが多少重たくなります。
●故意に戸を勢いよく開け閉めしないでください。… 故障の原因となります。

※ 本取説の説明図は、見やすくするために各部を色付けしています。… 実際の製品色とは異なります。

【補足説明】ネジ止めを追加して設置する場合　※追加ネジは別途ご用意ください。

●貼付け面の素地が以下の場合、《建具側に上手く付かない》ことがあります。
◆素材：＜布製・紙製の壁紙＞ ＜軟質塩ビ＞ ＜シリコン・フッ素樹脂を表面コートしたもの＞
◆状態：＜塗装が剥がれやすい面＞ ＜湿気を多く含んだ面＞ ＜凹凸が激しい面＞ ＜曲面／歪んだ面＞

●ネジ止めを追加して設置する方法
◆取付け手順書通りテープ止めで製品の設置を完了させた後、更にネジ止めを追加して建具に固定してください。
【左右ストッパーのネジ止め】
※追加ネジ：（＋）皿頭タッピンネジ 3×14 ・・・計2本使用
★ネジを外してストッパーを外せば、ベース側の中央に＜皿穴＞があります。その穴を使用して追加ネジで建具（上枠）に固定する。
★左右のストッパー共に同じ要領です。
【本体のネジ止め】
※追加ネジ：（＋）ナベ頭タッピンネジ 3×30 ・・・計2本使用
★前カバーを外せば、本体の左右2箇所にネジがあります。そのネジを取外し、追加ネジに付け替えて建具（戸）に固定する。



取付けの前に

【重要】建具側の上枠の溝に ＜引き戸用ブレーキ＞ が付いている場合は、必ず取外してください。※付けたままですと、本品が正常に動作しません。

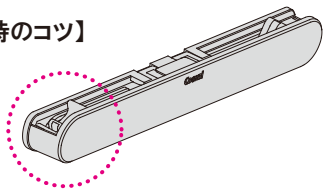
【ご注意】
★ネジ長さ14は《皿頭》

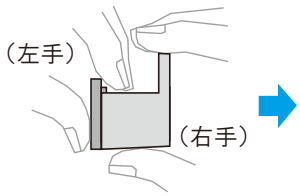
★ネジ長さ30は《ナベ頭》

《別紙：取付け手順書》について

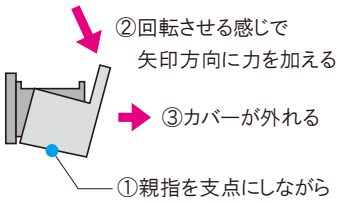
●《取付け手順書》（以下、手順書と記述）をよくお読み頂き、正しく取付けてください。

●手順書【3項】補足説明
【本体の＜カバー＞を外す時のコツ】





◆指の掛け方



◆外し方

●手順書【4項】補足説明
【開け切り側のソフトクローズ機能をご使用にならない場合】
★＜開け切り側のベース（ストッパーユニット）取付け＞ は不要ですので、【4項】をとばして【5項】へ進んでください。

【各部品を取付けし直したい場合】
★【4項】の＜仮固定＞の時点で部品を外して、再度＜仮固定＞し直してください。
★＜本体と上枠が 一見して平行になっていない時＞も、本体を一旦外してから【3項】の要領で＜仮固定＞し直してください。
★ゆっくり剥がせば比較的簡単に外れます。… 部品を破損させないように慎重に外してください。
※【5項】の＜本固定＞後は、部品を外すのが困難になるのでご注意ください。
※ 外した際に両面テープがダメになった場合は、新しいものに貼り替えてください。
《推奨》3M スコッチ 超強力両面テープ プレミアゴールド スーパー多用途 粗面用

取扱い説明書（裏）…2/2ページ

●手順書【4項】補足説明 …（表）ページのつづき

【上枠と本体との隙間が小さすぎて、その隙間に工具が差込めない場合】

★＜建具側（枠）の変形＞が製品の許容範囲を超えていることが考えられます。

★＜開け切り側＞のストッパーユニットは取付けずに、＜閉め切り側＞のソフトクローズ機能だけでご使用ください。

●手順書【6項】補足説明 …【動作確認】【微調整】について

★テープ本来の接着力がでるまでに約1日かかります。動作確認の際は、＜必要以上に勢いよく 戸を開閉＞ しないでください。

【動作確認】実際に戸を開閉して ＜正常に動作するか＞を確認

★＜自動でゆっくり引込みながら＞ ⇒ ＜閉め切る＞＜開け切る＞ のどちらもスムーズに動作するかを確認する。

※スムーズに動作しない場合は、＜建具側の敷居の溝や戸車＞にゴミ等が付着していないか確認してください。

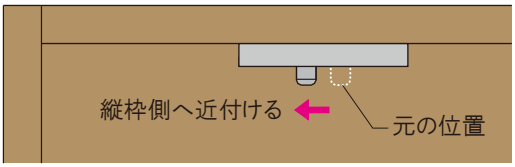
※製品を取付ける前の戸自体がスムーズに開け閉めできない場合は、正常に動作しないことがあります。

【微調整】＜戸を引込む力＞ が少し弱いと感じた時

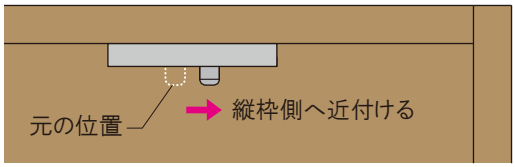
★ストッパーユニットのストッパー位置を調整し、 縦枠側に近付けることで＜引込む力＞を強めることができます。

★調整方法：＜ネジを少し緩めてストッパー位置を調整＞ ⇒ ＜ネジを締め直す＞

※但し、 その分だけ戸を開ける時も重たくなります。



【左側のストッパーユニット】



【右側のストッパーユニット】

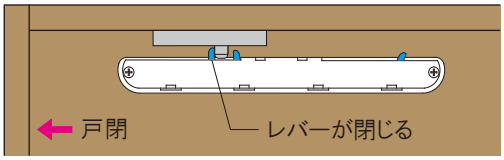
正常に動作しない時の対処法について

●戸閉時は正常に動作するが、戸開時に本体のレバーが正常に動作しない時

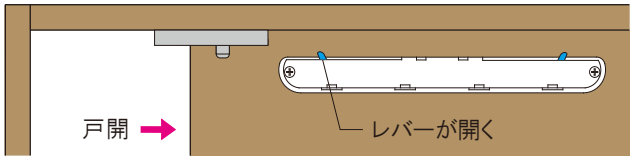
【現象】戸開時、本体のレバーが一旦開いた状態になるが、閉じた状態に戻ってしまう。

（その状態で戸を閉めると、レバーがストッパーに当たって戸が閉まり切らない。）

【原因】ストッパーのレバーへの掛りが浅いことが考えられます。

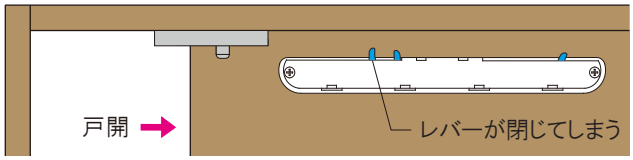


【戸閉時】正常に動作した状態



【戸開時】正常に動作した状態

※ レバーの状態をわかりやすくするために便宜上、本体カバーを外した状態の図で説明しています。… 実際には、カバーを外す必要ありません。



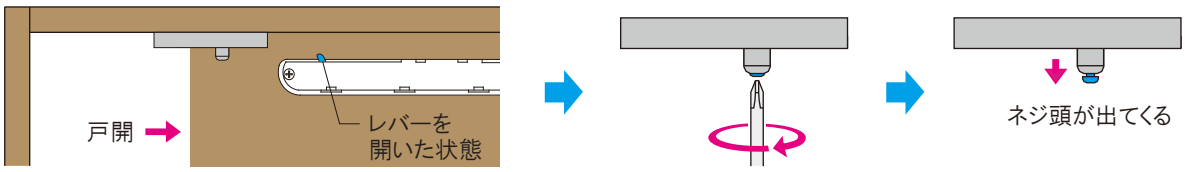
【戸開時】レバーが正常に動作しない状態

【対処法】ストッパー先端の調整ネジを回すだけで、ストッパーの掛りを深くすることができます。

★戸を開けた状態にしてから、調整ネジを回してネジ頭の突出加減を微調整していきます。

★ネジは一気に回さず、＜1回転させる ⇒ レバーへの掛かり具合を確認＞ を必要に応じ繰り返してください。

★掛かり具合を確認する際は、その都度＜レバーを開いた状態＞にしてから行ってください。



★ストッパーを越える位置まで戸を開けて、レバーを開く　　★調整ネジを矢印の方向に1回転させる

お手入れの際は

●シンナーなどの有機溶剤等で清掃しないでください。… 劣化や破損の原因となります。

●軽い汚れ… 柔らかい布に水を少量付けて軽く拭取る。

●その他汚れ… 柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を少量付けて拭取り後、洗剤の残りもきれいに拭取る。